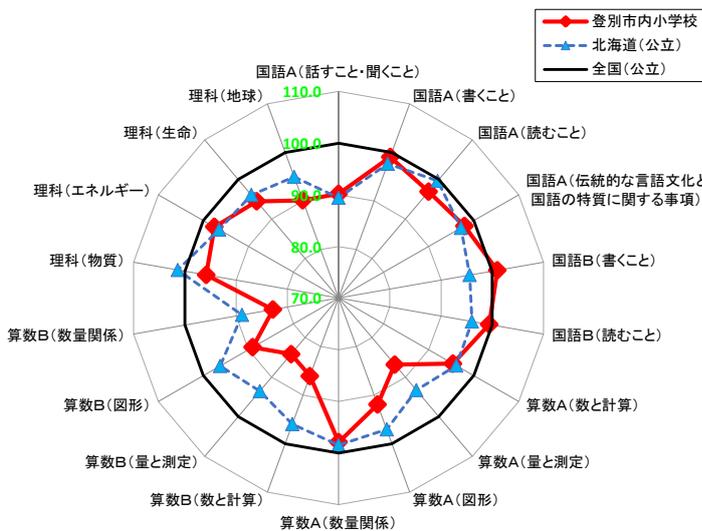


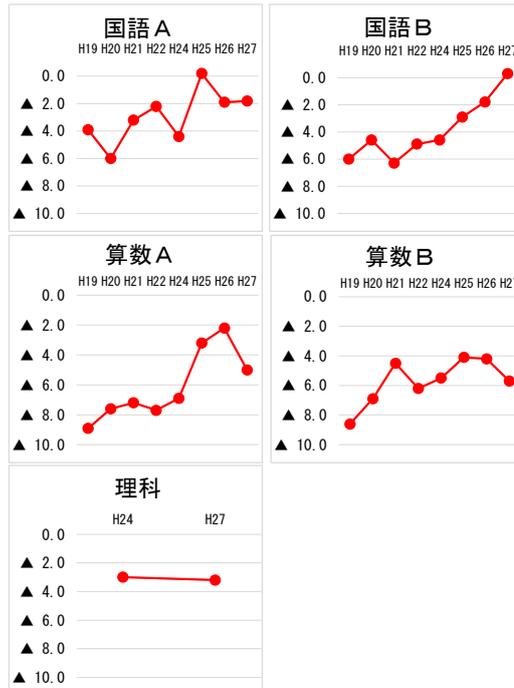
登別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8、児童数:431名)

【教科全体の状況】

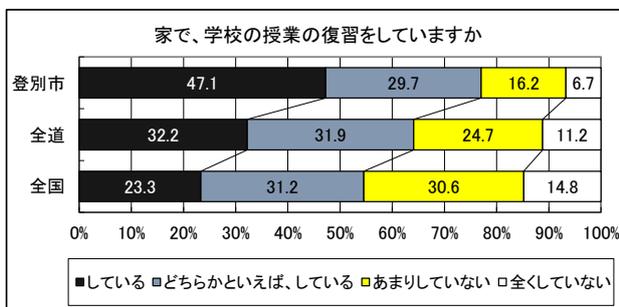
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



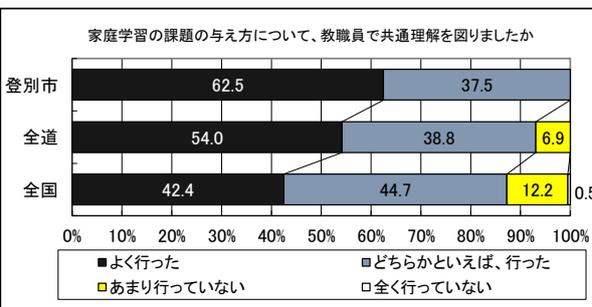
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bにおいて全国及び全道の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Bでは「書くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは「書くこと」、Bでは「読むこと」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成や配布、地域住民による学習支援などの取組を進めたことにより、児童に学習習慣が身に付き、「家で、学校の授業の復習をしている児童」の割合が、全国及び全道と比較して大幅に上回ったと考えられる。 ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図ったことで、「家で、学校の授業の復習をしている児童」の割合が、全国及び全道を上回り、その結果、国語Aでは「書くこと」、Bでは「書くこと」、「読むこと」で全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図ったと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

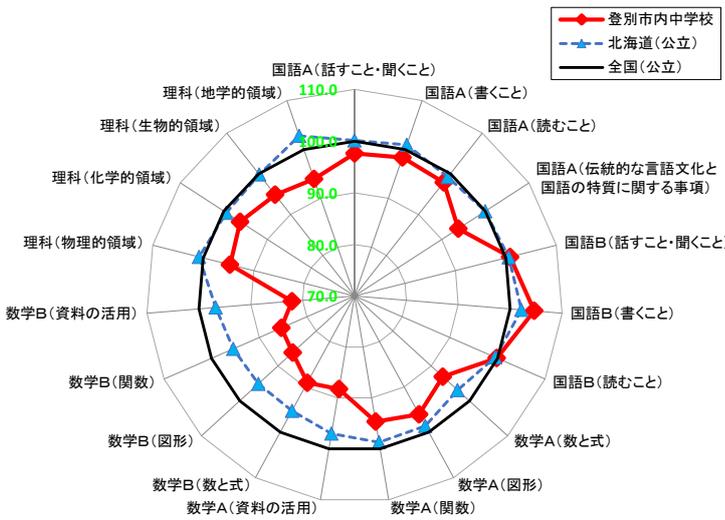
【登別市の学力向上策】

- ◎ 市独自に学習指導員を配置し、登別版チャレンジドリルの作成や各校の学力対策の支援
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成や配布、地域住民による学習支援
- ◎ 学校図書館司書の配置や市立図書館と学校図書担当者の相互連携による読書環境の充実

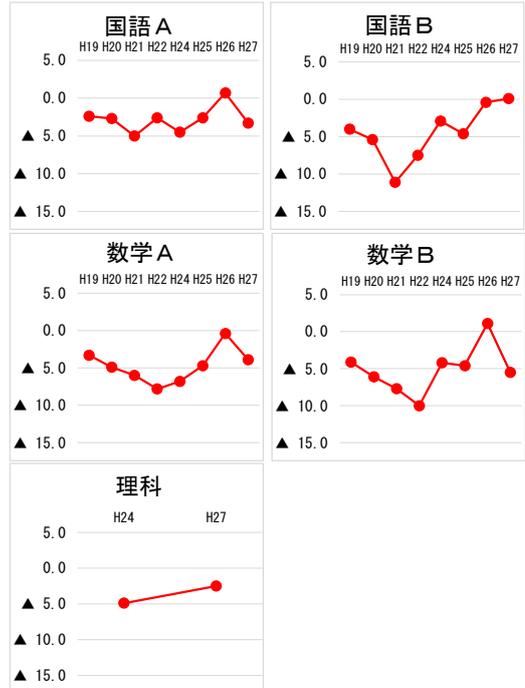
登別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5、生徒数:356名)

【教科全体の状況】

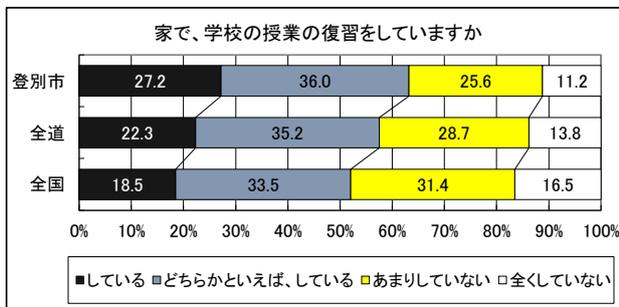
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



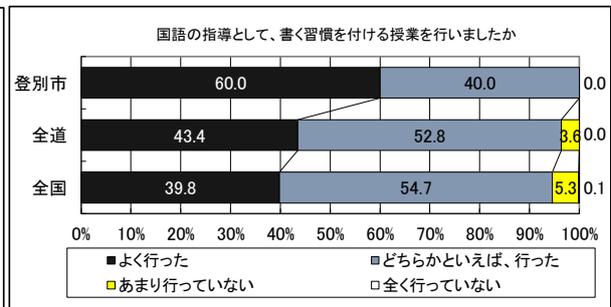
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bにおいて、全国及び全道の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で全国及び全道を上回り、「読むこと」で全国及び全道とほぼ同様となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市独自に学習指導員を配置し、登別版チャレンジドリルの作成や各校の学力対策の充実を図ったことや、国語の指導において、書く習慣を付ける授業を行ったことにより、国語Bで全国を上回ったと考えられる。 ○ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成や配布、地域住民による学習支援などの取組を進めていることにより、「家で、学校の授業の復習をしている生徒」の割合が増え、児童に学習習慣が身に付いてきていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、学校の授業の復習を「している」と回答した生徒の割合は、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を「よく行った」と回答した学校の割合は、全国及び全道を上回っている。 	

【登別市の学力向上策】

- ◎ 市独自に学習指導員を配置し、登別版チャレンジドリルの作成や各校の学力対策の支援
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成や配布、地域住民による学習支援
- ◎ 学校図書館司書の配置や市立図書館と学校図書担当者の相互連携による読書環境の充実